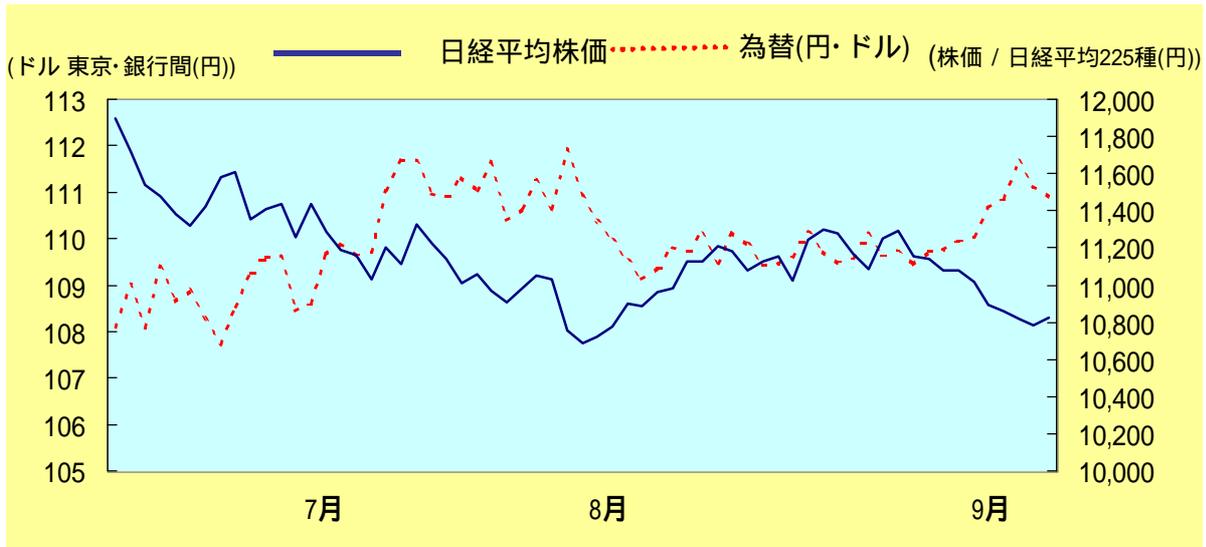


景気動向調査のまとめ

平成16年7月～9月

大分みらい信用金庫では、3カ月毎に「中小企業景気動向調査」を実施しています。

株価と為替の動き



調査内調

平成16年7～9月期の業況 / 平成16年10～12月期の業況予想

今回の調査実施時期

平成16年9月初旬

調査先数

大分市、別府市、挾間町、日出町の事業所188先

調査先業種別内訳

製造業	25先	小売業	56先	卸売業	19先
サービス業	60先	建設業	15先	不動産業	13先

調査方法

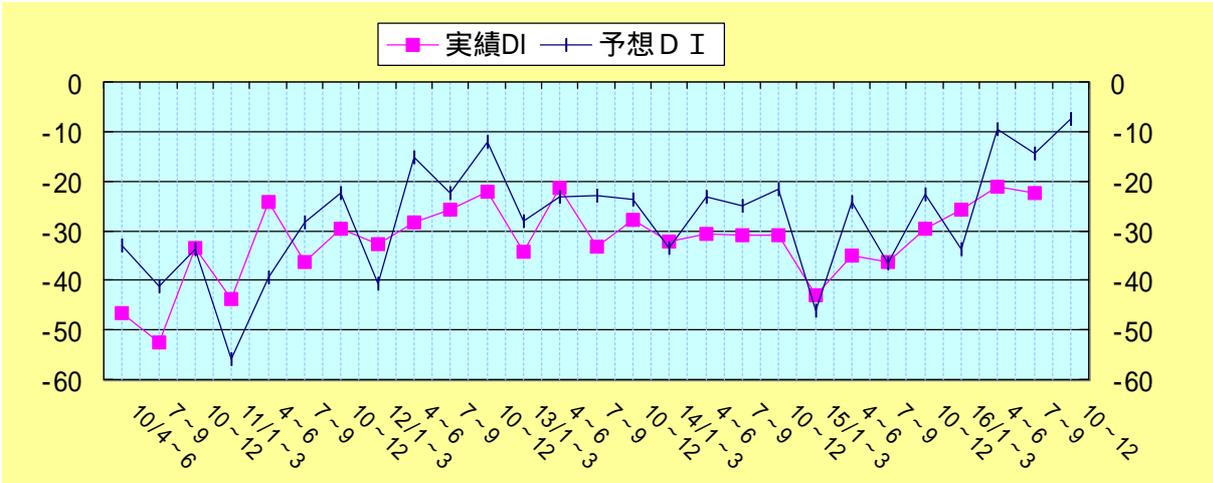
面接・聞き取りによる感触調査

分析方法

各質問項目で、「増加」(上昇)したとする事業所の全体に占める割合と、「減少」(下降)したとする事業所の割合との差(判断DI)にて分析しています。

県内経済概況

業況判断・実績DI / 予想DI値推移



業種別天気図

	総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
7～9月期実績	 22.3	 36.0	 28.6	 5.3	 20.0	 20.0	 23.1
10～12月期予想	 7.4	 16.0	 21.4	 31.6	 0.0	 13.3	 15.4
表の見方	 DI: 25以上	 DI: 15～24	 DI: 0～14	 DI: 1～14	 DI: 15～24	 DI: 25以下	

7月～9月の県内経済概況

(当金庫景気動向調査まとめ)

7月～9月の県内企業の景況感を表す総合業況DIは、22.3となり、依然としてマイナス数値にあるほか、前期比では1.1ポイントの微減となったが、前年同期比では14.0ポイントの上昇となった。また、業種別では、卸売業が前年同期比63.2ポイントの大幅な上昇となったほか、製造業、小売業、不動産業で前年同期比10ポイント以上の好転が見られた。また、10月～12月の総合業況予想は7.4で、今期比14.9ポイントの上昇と全般的に改善見通しである。

県内経済情勢報告(平成16年7月)

(財務省九州財務局 大分財務事務所報告より抜粋)

県内経済は、引き続き緩やかな回復の動きが見られる。

- ・個人消費は、持ち直しの動きが続いている。
- ・設備投資は、前年を上回る見通し。
- ・生産活動は、拡大が続いている。
- ・雇用情勢は、引き続き上昇基調にあり改善している。
- ・企業利益は、増益の見通し。

業種別景況

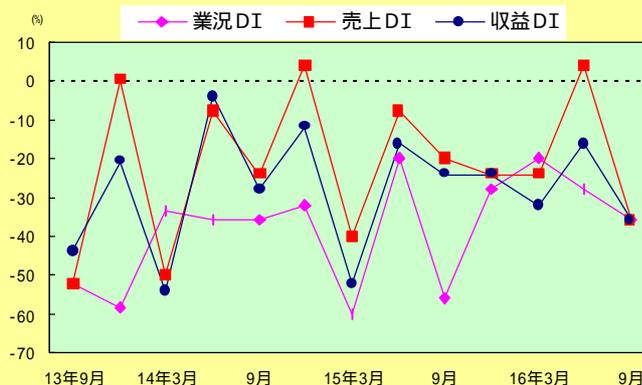
製造業

景況

業況DIは 36.0で、前期比8.0ポイントの下降、前年同期比20.0ポイントの上昇となった。一方、売上DIは 36.0で、前年同期比16.0ポイントの下降、収益DIは 36.0で、前年同期比12.0ポイントの下降となった。

来期（10～12月）の見通し

業況DIは 16.0で、今期比20.0ポイントの上昇と大幅な改善見通し。また、売上DIは 4.0で、同32.0ポイントの上昇、収益DIは 8.0で、同28.0ポイントの上昇見通しとなっている。



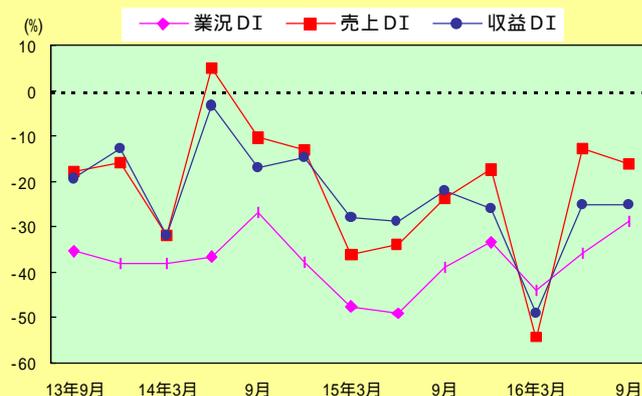
小売業

景況

業況DIは 28.6で、前期比7.1ポイントの上昇、前年同期比10.4ポイントの上昇となった。また売上DIは 16.1で、前年同期比7.6ポイントの上昇となった。一方、収益DIは 25.0で前年同期比3.0ポイントの下降となった。

来期（10～12月）の見通し

業況DIは 21.4で、今期比7.2ポイントの上昇見通し。また、売上DIは0.0で、同16.1ポイントの上昇、収益DIは 7.7で、同17.3ポイントの上昇見通しとなっている。



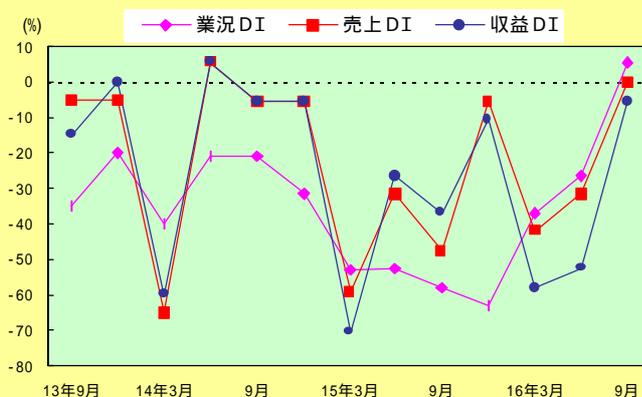
卸売業

景況

業況DIは5.3で前期比31.6ポイントの上昇、前年同期比63.2ポイントの大幅上昇となりプラスに転じた。また、売上DIは0.0で、前年同期比47.4ポイントの上昇、収益DIは 5.3で、同31.5ポイントの上昇となった。

来期（10～12月）の見通し

業況DIは31.6で、今期比26.3ポイントの上昇と大幅な改善見通し。また、売上DIは31.6で、同31.6ポイントの上昇、収益DIは 21.1と同26.4ポイントの上昇見通しとなっている。



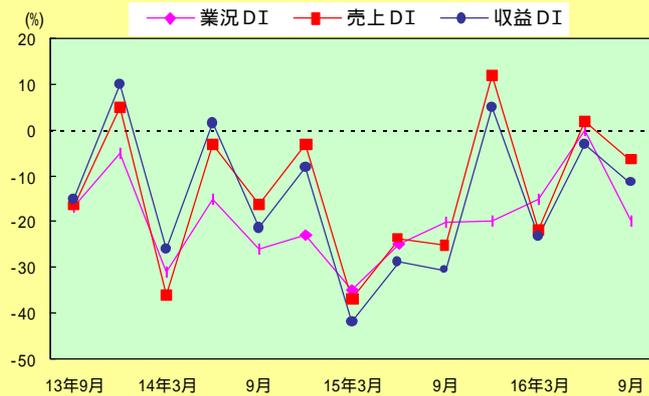
サービス業

景況

業況DIは 20.0で、前期比20.0ポイントの下降、前年同期比0.3ポイントの上昇となった。また売上DIは 6.7で、前年同期比18.7ポイントの上昇、収益DIは 11.7で、同18.8ポイントの上昇となった。

来期(10~12月)の見通し

業況DIは0.0で、今期比20.0ポイントの上昇見通し。また、売上DIは15.0で、同21.7ポイントの上昇、収益DIは10.0で、同21.7ポイントの上昇見通しとなっている。



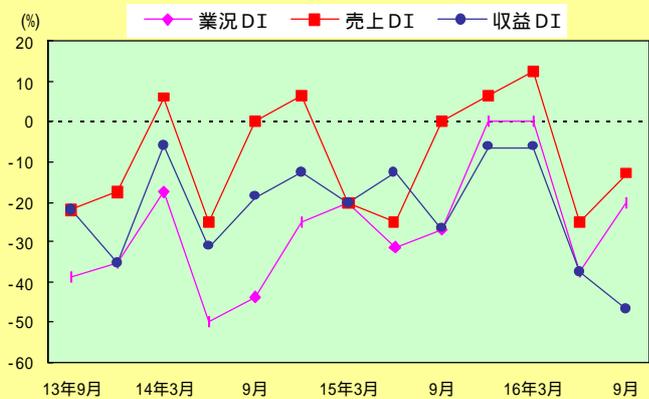
建設業

景況

業況DIは 20.0で、前期比17.5ポイントの上昇、前年同期比6.7ポイントの上昇となった。一方、売上DIは 13.3で、前年同期比13.3ポイントの下降、収益DIは 46.7で、同20.0ポイントの下降となった。

来期(10~12月)の見通し

業況DIは 13.3で、今期比6.7ポイントの上昇見通し。また、売上DIは 13.3で、今期比横ばい、収益DIは 13.3で、同33.4ポイントの上昇見通しとなっている。



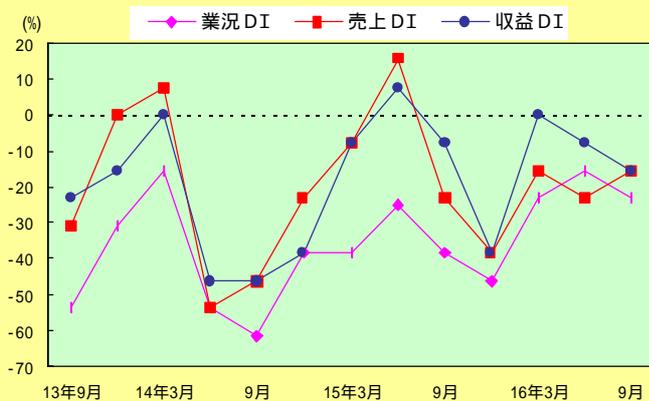
不動産業

景況

業況DIは 23.1で、前期比7.7ポイントの下降、前年同期比15.4ポイントの上昇となった。また売上DIは 15.4で、前年同期比7.7ポイントの上昇となった。一方、収益DIは 15.4で、同7.7ポイントの下降となった。

来期(10~12月)の見通し

業況DIは 15.4で、今期比7.7ポイントの上昇。また、売上DIは7.7で、同23.1ポイントの上昇、収益DIは7.7で、同23.1ポイントの上昇見通しとなっている。



設備投資の動き

(複数回答・1先3項目以内選択)

種類	7月～9月期	10月～12月期
機械・設備の新・増設	6	5
機械・設備の更新	11	7
事務機器	2	2
車両	3	1
事業用土地・建物	6	7
その他	2	1
設備投資なし	146	146

経営上の問題点

上位5項目(複数回答・1先3項目以内選択)

1	売上の停滞・減少	101
2	同業者間の競争の激化	91
3	利幅の縮小	39
4	大手企業との競争の激化	35
5	地域産業衰退	12

当面の重点経営施策

上位5項目(複数回答・1先3項目以内選択)

1	経費節減	101
2	販路の拡大	72
3	情報力の強化	26
4	宣伝・広告の強化	25
5	商品の充実	23

DI 数値表

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業況	7月～9月実績	22.3	36.0	28.6	5.3	20.0	20.0	23.1
	10月～12月予想	7.4	16.0	21.4	31.6	0.0	13.3	15.4
売上	7月～9月実績	13.8	36.0	16.1	0.0	6.7	13.3	15.4
	10月～12月予想	6.9	4.0	0.0	31.6	15.0	13.3	7.7
受注残	7月～9月実績	25.6	29.2	***	***	***	20.0	***
	10月～12月予想	5.1	4.2	***	***	***	20.0	***
施工高	7月～9月実績	20.0	***	***	***	***	20.0	***
	10月～12月予想	26.7	***	***	***	***	26.7	***
収益	7月～9月実績	21.3	36.0	25.0	5.3	11.7	46.7	15.4
	10月～12月予想	2.3	8.0	7.7	21.1	10.0	13.3	7.7
販売価格	7月～9月実績	13.3	12.0	8.9	15.8	5.0	40.0	38.5
	10月～12月予想	5.9	12.0	1.8	0.0	0.0	26.7	23.1
仕入価格	7月～9月実績	3.2	28.0	3.6	5.3	1.7	6.7	30.8
	10月～12月予想	8.5	24.0	16.1	5.3	5.0	6.7	15.4
在庫	7月～9月実績	2.3	0.0	1.8	15.8	***	6.7	15.4
	10月～12月予想	0.8	4.0	7.1	15.8	***	6.7	15.4
資金繰り	7月～9月実績	19.1	44.0	17.9	0.0	8.3	26.7	46.2
	10月～12月予想	9.6	24.0	5.4	10.5	5.0	33.3	38.5
残業時間	7月～9月実績	1.1	12.0	1.8	10.5	3.3	6.7	7.7
	10月～12月予想	3.8	12.5	11.1	5.3	3.3	6.7	0.0
人手状況	7月～9月実績	3.7	4.0	1.8	5.3	13.6	6.7	7.7
	10月～12月予想	11.4	12.5	7.3	5.3	18.6	0.0	15.4
前年同期比売上高		20.7	40.0	17.9	21.1	18.3	20.0	7.7
前年同期比収益		26.6	40.0	33.9	26.3	15.0	33.3	15.4
前年同期比販売価格		9.3	***	5.4	21.1	***	***	***

主な経済指標の動向

大規模小売店舗売上高

8月の県内の大規模小売店舗(22社100店舗)の総売上高は194億83百万円で、店舗調整後では前年同月比7ポイント減少となった。品目別では、衣料品が前年同月比10.1ポイント減、食料品が同4.6ポイント減、その他の商品が同7.6ポイント減となった。また、業態別にみると、百貨店および専門店(9社14店舗)は前年同月比8.1ポイント減、スーパー(13社86店舗)は同6.3ポイント減となった。

(%) 大規模小



新車販売台数

9月の登録車と軽四輪車合計の新車販売台数(総合計)は5,431台、前年同月比3.7ポイントの増加となった。このうち、普通乗用車は前年同月比11.8ポイント増、小型乗用車は同2.5ポイント減、軽乗用車は同3.8ポイント増となっている。

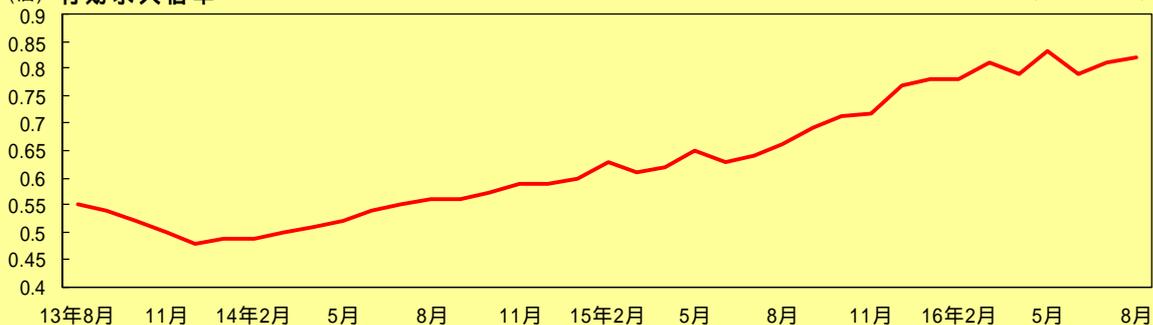
(%) 新車販売台数(前年同月比)



有効求人倍率

8月の県内の有効求人倍率(季節調整値)は0.82倍で、前月より0.01ポイント上がり、2ヶ月連続の上昇となった。なお、全国平均は0.83倍、九州平均は0.61倍となっている。

(倍) 有効求人倍率



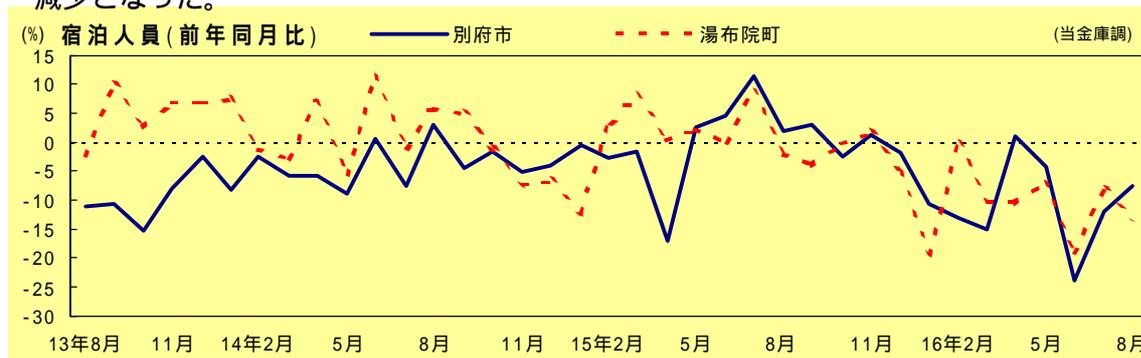
新設住宅着工戸数

8月の県内の住宅着工戸数は1,219戸で、前年同月比70.9ポイントの増加となった。うち持家が344戸で同25.5ポイントの増加、貸家が511戸で同79.3ポイントの増加、分譲(マンション・建売)が169戸で同704.8ポイントの増加となっている。



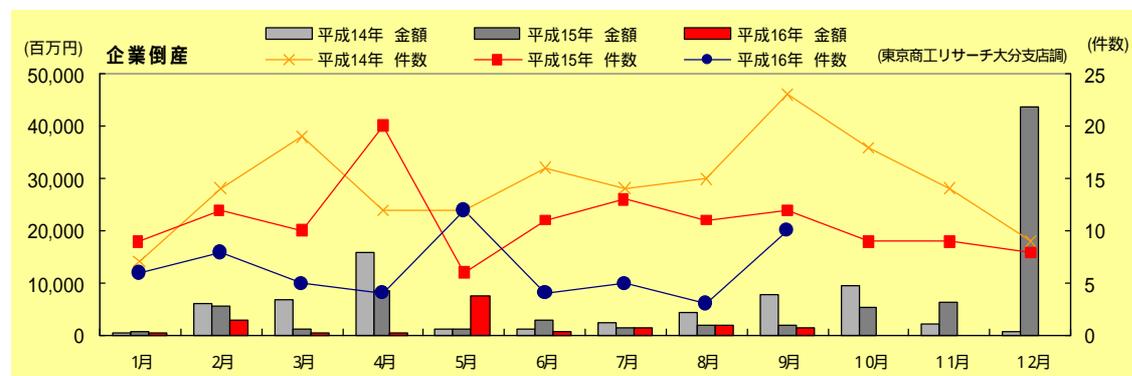
観光動向

観光客宿泊動態は、6月は別府市内で前年同期比24.0ポイントの減少、湯布院町で同19.4ポイントの減少。7月は別府市内で同11.8ポイントの減少、湯布院町で同8.3ポイントの減少。8月は別府市内で同7.5ポイントの減少、湯布院町で同13.1ポイントの減少となった。



企業倒産状況

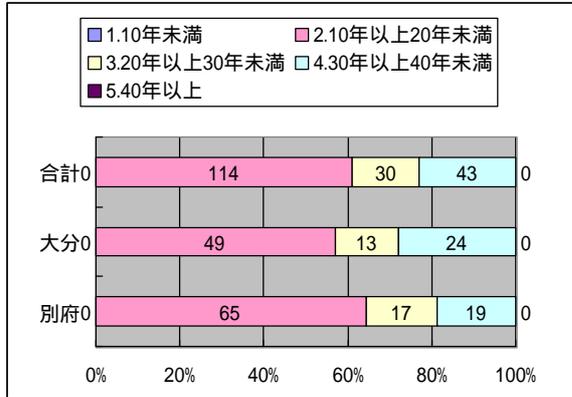
東京商工リサーチ大分支店によると、県内の9月倒産件数は10件、負債総額は13億7千2百万円。原因別では、販売不振が5件、赤字累積が3件、連鎖と代表者の死亡が各1件。不況型倒産が8件であった。業種別では建設業が8件、卸売業とサービス・その他が各1件。地域別では、大分市7件、その他地域3件であった。



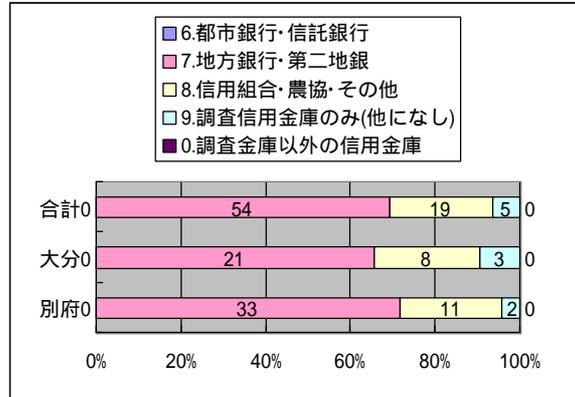
「地域金融機関等に期待すること」

問1.貴社の経営者（ご自身）の経営のご経験年数について下記1～5のなかから1つ、また、メインバンクとして取引している金融機関の業態について下記6～0のなかから1つ選んでお教え下さい。

(企業経営の経験年数)

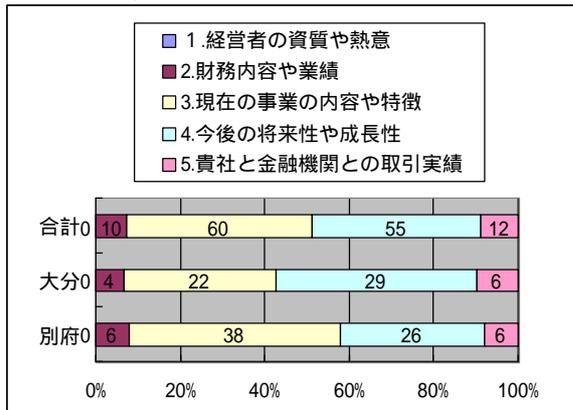


(メイン金融機関)

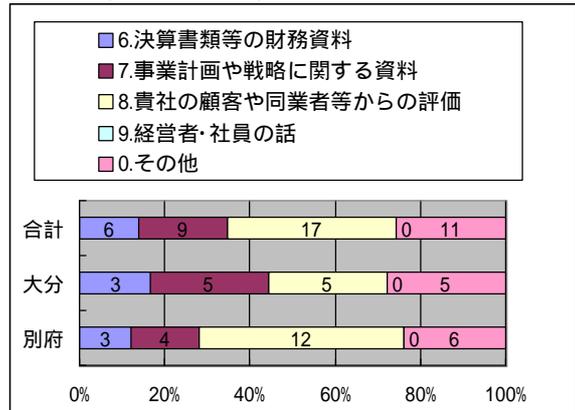


問2.地域金融機関と継続的な取引を行っていくなかで、金融機関が貴社をより良く知るために特に評価して欲しいと思うポイントを下記の1～5のなかから1つ、また、特にそのために有効だと思う資料等を下記の6～0のなかから1つ、選んでお答え下さい。

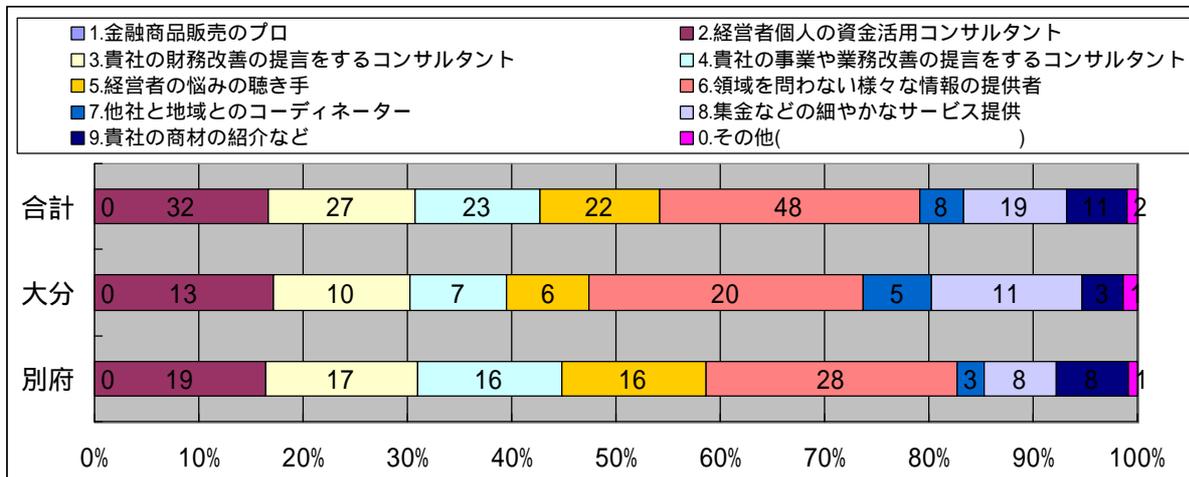
(評価して欲しいポイント)



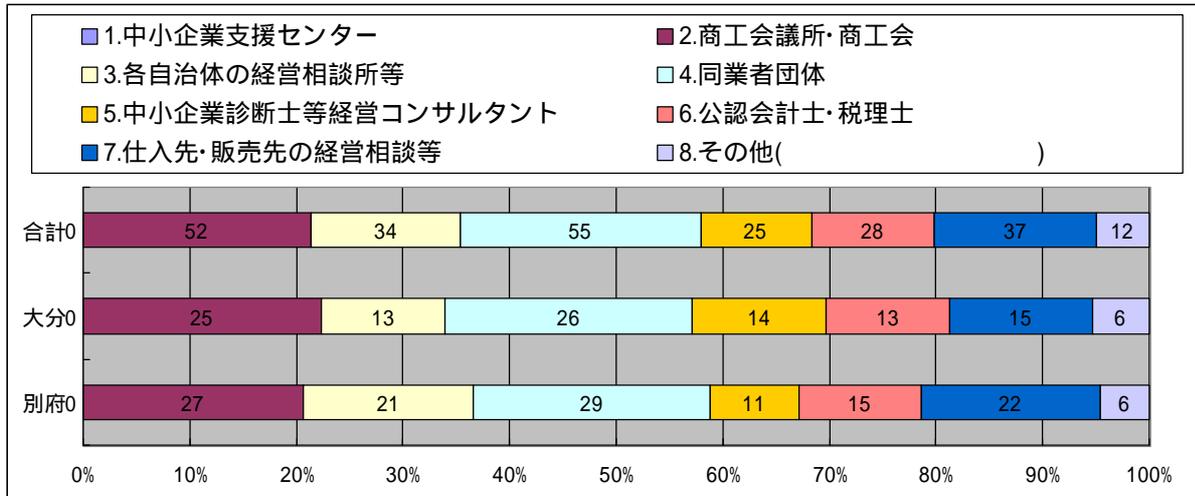
(有効な資料等)



問3.貴社と長期継続的な関係を維持するうえで、地域金融機関の渉外担当者等どのような役割や行動に満足または今後期待しますか。下記の1～0のなかから3つ選んでお答え下さい。



問4.金融機関以外で、貴社の経営の相談相手として今後活用したい存在にはどのようなものがありますか。下記の1~8のなかから2つ選んでお答え下さい。



問5.地域金融機関が中小企業等の資金需要に応じていくため、今後、取扱い拡充や新たに提供して欲しい融資形態や担保等について、下記の1~0のなかから3つ選んでお答え下さい。

